

文部科学大臣賞 最優秀賞 受賞

南風原高校 郷土芸能部が第45回全国高校総合文化祭 郷土芸能部門にて文部科学大臣賞 最優秀賞を受賞しました。部長の中里芽生さんは「コロナの中、限られた練習ではありましたが、国立の舞台に立ちたい気持ちを大切に、部員全員の気持ちがバラバラにならないよう日々の練習を大切にし挑みました。一致団結し、みんなで賞を取れてとっても嬉しいです。」山城園代教諭は「今回の演舞は平成18年の優秀賞獲得以降大会では封印していたのですが、原点に立ち返る気持ちで今回再度取り組みを決めました。卒業生と在校生の思いが一つになった賞だと感じています。」とコメントをしてくれました。



南風原高校 郷土芸能部のみなさん

環境の杜ふれあい公園開園

7月16日(金)南風原町新川にある環境の杜ふれあい公園が開園となりました。開会式では那覇・南風原グリーンセンター関係者、東新川自治会長 他6自治会長が参列し開園を祝いました。平成25年より開始した公園整備、今後は遊具や親水広場などを整備し令和7年完成予定とのことです。東新川自治会長 大城隆さんは「不法投棄、産業廃棄物、地域の発展を脅かす土地利用が私たち地域住民を悩ませてきました。公園整備が地域づくりの先駆けとなり、地域が明るくなること、そしてこの施設が健康・福祉・文化の創造に寄与することを見守っていきたいです。」とコメントをしてくれました。



左から南風原町議、南風原町長、那覇市長、那覇市議、東新川自治会長

食が広げる健康の輪

株式会社 丸大、てるしのワークセンターの弁当が、健康づくりに役立つ栄養バランスのとれた食事である「スマートミール」に認証されました。スマートミールとは、一食の中で主食・主菜・副菜が揃っており、塩分の取り過ぎに考慮し、野菜をたっぷり使った食事のことです。この取り組みは、町の健康課題について、課題解決に取り組みたいという国保年金課健康づくり班の強い思いから、町商工会の協力の元、企業との学習会から始まりました。

丸大、てるしのワークセンターは、勉強会を重ね、スマートミール認証制度を活用し、認定基準を満たす弁当開発に励み、見事認証を受けました。

町の管理栄養士は、「行政と民間の連携が認証を受けることは全国初、県内スーパーでのスマートミール認証は県内初、幕の内弁当での認定は全国にもあるが、てるしのワークセンターが開発した丼物での認定も全国初だそうです」と教えてくれました。

丸大 惣菜担当 大城良仁さんは「今までも2か月に1度、健康



左から てるしのワークセンター岸本施設長、山田会長、赤嶺町長、株式会社丸大 植田部長、惣菜担当 大城さん

と美容に特化した弁当を販売していましたが、単純に揚げ物を抜いたり、カロリーを抑えることしかしていませんでした。今回、町の栄養指導のもとスマートミール基準の弁当を皆で作りができるようになりました。

てるしのワークセンター施設長 岸本吉博さんは「コロナ禍による制限で、利用者のうつ病や糖尿病の増加などの二次被害に悩まされていましたが、皆で弁当を作るという目標ができたことで利用者が毎日生き活きと作業できるようになりました。弁当が利用者の生きがいづくりにも繋がりと感謝しています」とコメントしてくれました。

赤嶺町長からは「町としては、以前から町民の健康づくりの一環で栄養指導を行っていましたが、健診後の個別の指導が中心でした。企業の開発努力により認証を受けたことで、町民のニーズにあわせた食環境の提供、町民により近い食事のサポートができると考えています。今回の協力に心から感謝申し上げます」と感謝の言葉が伝えられました。



丸大認定書

てるしの認定書

丸大煮付け弁当

てるしの豚丼

南風原町 県外派遣助成金交付式



みやぎやぐち
宮城祥多さん(南星中)
令和3年度全日本バレエ・コンクール
「全国大会ではベストを尽くし、全国レベルの高度な技術を学び、成長に繋げられるよう頑張ります」
宮城祥多さん



あんりや
安仁屋ヤングスピリッツ(南風原中)
第9回ヤングリーグジュニア選手権大会
「一球、一球大切に投球をし、南風原町に良い報告ができるよう頑張りたいです」
ながやまさん、つはこさん
長山慧さん、津波古広英さん



もり たしかわ
森田輝さん(南風原小)
第44回JOCジュニアオリンピックカップ
夏季水泳競技大会(水球競技)
「全国制覇目指して頑張ります」
もり輝さん



ヴィクサーレ沖縄FCジュニアユース(南風原中・南星中)
第36回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権大会
「九州の強豪チームに負けないよう積極的なプレーをしたいです」
うえはらさん、おもしろさん、さいのしょう、つはこさん
上原雄飛さん、大城琉海さん、才野渉さん、津波古充幸さん



きよさきフェニックス少年野球(翔南小)
第17回サマーベースボールトーナメント
「チームで協力し、絶対優勝して金メダルを持って帰ってきます」
にしめじん、おもしろさん、いさきさん
西銘仁之介さん、大城光太さん、伊地希輔さん、金城光琉さん、大城弘幹さん



Wウイング沖縄FC(南風原中)
第36回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権大会
「相手に気持ちで負けず、勝ち進むことができるようゴールを狙っていきます」
うえはらさん、まえしろさん、いしほうさん
上地玲央さん、前城友彦さん、伊波隆吾さん

ご寄付ありがとうございました。

● 南風原町社会福祉協議会への一般寄付

(株)近代美術
社会貢献社内プロジェクト
募金チーム様より…………… 9,900円

赤嶺勝志様(宇喜屋武)より………… 10万円
故祖母 赤嶺清様の香典返しとして
島袋照夫様(宇喜屋武)より………… 10万円
故姉 島袋初江様の香典返しとして

● 南風原町育英会への一般寄付

瑞泉酒造株式会社
代表取締役社長 佐久本学様より… 2万円
株式会社りゅうとう
代表取締役社長 新垣良光様より 70万円

なごみの森

7月29日(木)町在住の田本政子さんより絵本の寄贈がありました。「小学校からの親友が病気を患い、得意だった絵がもう描けそうにないと報告を受け、何か残したいという思いから絵本作成が始まりました。登場する34種類の鳥の中には、飛べない鳥も登場します。様々な鳥を登場させることで、それぞれに役割があり大切な存在であることを表現しました。鳥たちの会話から、親子の愛や仲間の大切さを子どもたちに感じ取っていただけたら嬉しいです」と田本さんは教えてくれました。町長からは「本は人生においてエネルギー、心のオアシス、時には羅針盤になる貴重な存在です。本に触れる出発点である幼少期の子どもたちに、エネルギーいっぱい絵本に触れる機会を与えてくれたことに対して感謝の気持ちでいっぱいです。困難な状況の中描かれた絵の力は、子どもたちの心に響くものが沢山あると思います」と感謝の気持ちを伝えていました。本は町内の保育所、幼稚園、小学校、図書館へ配布されます。



寄贈のあった絵本

左2番目 田本さん

家族介護教室

7月27日(火)社会福祉協議会にて認知症に関する学習会が開催されました。講師に、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 認知症看護認定看護師 金城寿さんを迎え、コロナ禍における認知症予防・高齢者の心身の健康維持について講習が行われました。「最初に本人や家族が、認知症かもしれないと気付いてから医療機関を受診するまでにかかった期間は平均9.5か月、医療機関受診から認知症の確定診断までにかかった期間は平均6.0か月と言われています。認知症は年単位で進行していく病気で、認知症になったからといって、すぐに何もできなくなるわけではありません。現在、新しい薬も開発されており治せる認知症もあります。しかしそれには、早期発見と早期治療が必要になります。抱え込まずに、まずは役場の包括支援センターやかかりつけ医などに相談してください」と説明していました。



講習の様子